

発明の名称: 新規微細藻類

利用・用途・応用分野

無料開放特許

飼料、健康食品、食品添加剤、医薬品、化粧品等

目的・課題

従来の天然物由来のアスタキサンチン製造方法や微生物の培養法は、アスタキサンチン含有量が低く、アスタキサンチンの抽出や精製等にも技術的、経済的問題がある。安価な原料から、天然の生合成経路を利用した、製造コストが低いアスタキサンチン製造技術の開発ソースとして微細生物によるアスタキサンチン生産に期待が寄せられている。

解決ポイント

分子生物学的手法、リボソームDNAの塩基配列を解析した結果、モノラフィディウム属 (*Monoraphidium* 属) に属する新規な微細藻類と判明。この新規微細藻類をGK12と命名、平成18年3月27日に独立行政法人産業技術総合研究所特許微生物寄託センターに寄託。(寄託番号: FERM P-20853) その新規藻類を培養し、微細藻類からアスタキサンチンを抽出するアスタキサンチンの生産方法。

研究概要・アピールポイント

新規微細藻類は、従来と比較しても簡単な組成培地で増殖でき、少ない照射光量で増殖可能である。この微細藻類はアスタキサンチンの含有量が高い。アスタキサンチン含有量が高い藻類として知られている *Haematococcus pluvialis* に匹敵する程度の含有量である。本発明の新規微細藻類からアスタキサンチンを抽出し、安価にアスタキサンチンを製造できる。

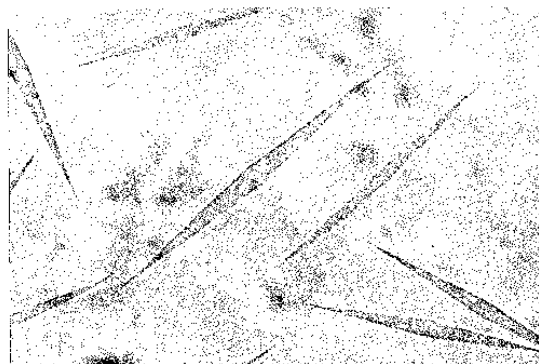
新規微細藻類
モノラフィディウム属



培 養



藻の破碎、アスタキサンチン抽出



微細藻類の顕微鏡写真

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp